

スタートアップ・エコシステム拠点形成計画

令和5年度フォローアップ報告

スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム



| | | |
|---------------------------------------|-------|----|
| I. エコシステム形成促進主体について | | 3 |
| II. 地方自治体の取組 | | 18 |
| III. 民間組織の取組 | | 25 |
| IV. 大学の取組 | | 31 |
| V. 都市の環境・繋がりの状況 | | 34 |
| VI. ウィズコロナ・アフターコロナ、 グローバルを考慮した拠点形成 | | 37 |

I. エコシステム形成促進主体について(1/15)

1. 拠点形成計画の進捗状況(1/2)

令和4年度は、計画目標の達成に近づくためNextユニコーン企業の最後の一押しをする「ディープ・エコシステム」について支援対象を2社から5社に拡大。グリーン・スタートアップ支援も開始。また、City-Tech.Tokyoでの成果発表を通じた海外投資家とのマッチング支援も実施。

| 指標 | 計画時点 | 2021年7月時点 | 2022年6月時点 | 2023年3月時点 | 目標 (2024年度) |
|---|---|-------------------------------|---|---|-----------------------------|
| ユニコーン創出数(累計) | 3社 (INITIAL2019年) ・プリファードネットワーク ・リキッド ・スマートニュース | 8社 | 9社 | 13社 | 20社 |
| Startup Genome社 Global Startup Ecosystem Report | 調査対象外 (2019年度) | 15位 (2020年6月時点) | 9位 (2021年) 12位 (2022年) | 15位 (2023年6月時点) | 10位以内 |
| 行政課題解決 プロジェクト創出数 (累計) | - (2019年度) | 14件 (2020年度実績・つくば 市含む) | 48件 (2020~2021年度実績・ 渋谷区、横浜市、つくば 市含む) | 90件 (2020~2022年度実績・ 渋谷区、横浜市、つくば 市含む) | 50件 |
| 2thinknow社 Innovation Cities Index (時点) | 2位 (2019年度) | 2位 | 1位 | 1位 | 1位 |
| 海外高度人材 (高度専門職・経営管理 ビザ数) | 15,956人 (2018年度) | 18,829人 | 18,685人 | (データ集計待ち) | 35,000人 |
| 外国企業誘致数 (累計) | 719社 (2012年4月~2018年度) | 795社 (2012~2019年度) | 882社 (2012~2020年度) (2020年実績・横浜市を 含む) | 1,002社 (2012~2021年度) (2022年実績・渋谷区、 横浜市、千葉市を含む) | 1,500社 (累計) |
| 大学発ベンチャー数 ※コンソーシアム加盟大 学の総計 | 533社 (コンソーシアム 加盟大学 の総計) | 928社 (コンソーシアム 加盟 大学の総計) | 1,128社 (コンソーシアム 加盟大 学の総計) | 1,366社 (コンソーシアム 加盟大 学の総計) | 倍増 (コンソーシアム 加盟大 学の総計) |

※その他指標: ディープ・エコシステムの取組によるスタートアップ支援(累計) 7社(令和4年度)

I. エコシステム形成促進主体について(2/15)

1. 拠点形成計画の進捗状況(2/2) Global Startup Ecosystem Ranking について

東京コンソーシアムのKPIの1つであるGlobal Startup Ecosystem Ranking (GSER)について、2021年ランキングにおいて9位にランクインし、初の10位圏内を達成。

2022年ランキングでは12位、2023年ランキングでは15位となったが、原因をコンソーシアム全体で分析し、2024年に再び10位以内を達成すべく、更にスタートアップ・エコシステム形成を促進するための取組を検討・実施する予定。

GSER2021 東京: 9位。初の10位圏内。

- スタートアップへの投資が伸び、投資家の規模や経験が上積みされたこと、50億を超えるExitが堅調に推移し、また1,000億円規模のExitの数が伸びるなど、スタートアップのExitの数、質がともに向上していることが評価

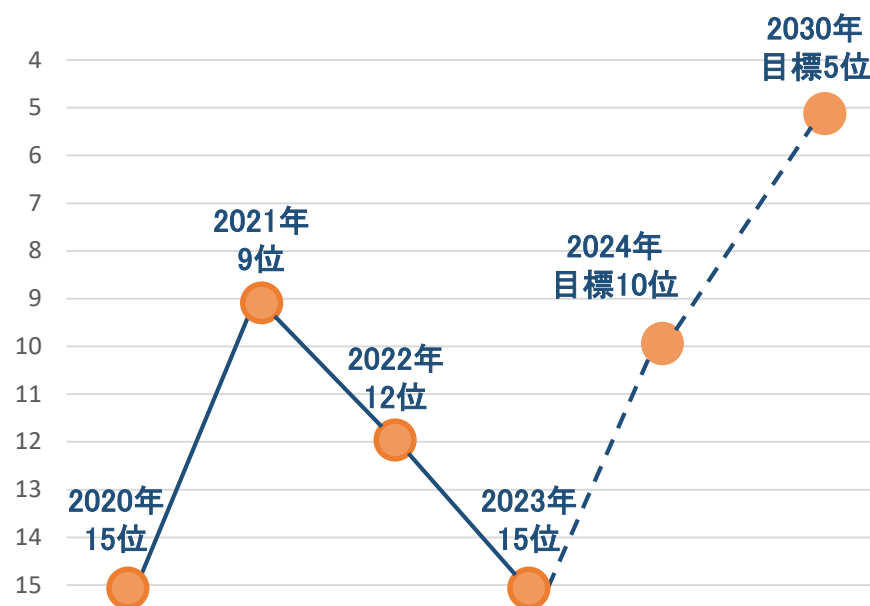
GSER2022 東京: 12位

- 世界的に2021年はExit市場が好況で市場規模が増加傾向である一方で、東京のExit時の企業評価額が他都市より低く、また東京の市場データが海外に認識されていないことから、大型上場の指標が相対的に降下

GSER2023 東京: 15位

- City-Tech.Tokyo等のグローバルに向けた情報発信の機会拡大が評価された一方で、ミドルレイタースタートアップの時価総額や大型上場の指標等が降下

Global Startup Ecosystem Rankingにおける東京の順位



ランキングアップに向けた令和5年度の取組

Global Startup Ecosystem Ranking2024 における10位以内の達成に向け、GSER等のコンソーシアムの指標の結果等を分析・検討するワーキング・グループで検討した結果の取組を行うとともに、引き続き東京コンソーシアム圏内におけるエコシステムの現状分析や更なる取組を検討。

1. エコシステム形成促進主体について(3/15)

2. 東京コンソーシアムの趣旨

東京コンソーシアムは、スタートアップ・エコシステムのグローバル拠点都市としての地位確立に向け、東京や「グレーター東京」の多様な産業集積を活かし、新たなつながりを生むプラットフォームとして設立

特色

- 東京は日本一のヒト・カネ・知の集積地。
(都市圏人口約3,800万人、都内総生産約115兆円、国内トップ大学の約3割が集中、Fortune Global500企業の所在数世界第2位 等)
- この資源を最大限に活かし、新たなつながりを生むプラットフォームを形成
- 東京都心部を核として、「グレーター東京」としてハブ&スポークの形で連携の輪を都外拠点にも拡大。国や海外拠点と連携し、エコシステムをさらに拡充

2. つながり創出

多様なプレイヤーをネットワーキング
大企業から中小まで幅広い参画を得て、
新たなつながりを創出
オープンイノベーションを推進

1. 情報共有・基盤強化

多様な資源の実態を
把握、情報共有。タイムリーに
情報が届くサポートを実現

3. 見える・魅せる東京へ

東京のスタートアップ・エコシステムを広く発信。
中からも外からもビジブルに、海外
スタートアップ・投資を惹きつける東京へ

4. 国との連携

グローバル拠点都市として日本の
成長戦略に貢献。
タイムリーな規制緩和や施策を提案要求、
海外PR等へも協力

5. 広域連携のイノベーション・ハブ

東京圏の拠点都市との連携により、
幅広い機能を実現

「点」×「深さ」のディープ・エコシステム：

コンソーシアム会員のネットワークを活用し、スタートアップをユニコーン級に成長させる取組の推進

「面」の汎用エコシステム：

スタートアップと企業・個人・大学等の相互連携を強化、データの活用を促進、広域なプラットフォームを整備

I. エコシステム形成促進主体について(4/15)

3. エコシステム形成促進主体の構成組織と役割分担

令和5年度の体制

理事会

全体推進
WG

大学を中心としたエコシステム拠点強化WG

慶應義塾大学を中心としたPT

次世代医療エコシステムの実現PT

グローバル化推進WG

Team Invest Tokyo PT

グローバルイベントPT

ダイバーシティPT

DX・スマートシティWG

個別PT

バイオ・ウェルネスWG

個別PT

主なメンバー

- 都内民間事業者(デベロッパー、金融機関、事業会社等)
- 団体(経団連、経済同友会、新経連、東商、日本VC協会、ジェトロ、東京証券取引所等)
- 大学(東京大、慶應義塾大、早稲田大等)
- VC、スタートアップ(上場済含む)
- 都内自治体
- 広域連携自治体(川崎市、横浜市、茨城県、つくば市、和光市、千葉市)
- 東京都(事務局)

会員数: 488 (2023年3月31日時点)

エコシステム形成に向けて、大企業、大学・研究開発法人、自治体、経済団体、VC・アクセラレータなど幅広い主体が参画。会員数は、2022年度の間で214団体増加

I. エコシステム形成促進主体について(5/15)

4. 東京コンソーシアムの取組概要

① ディープ・エコシステムでの支援

スタートアップエコシステム(275社)内のスタートアップ(48社)から、ディープエコシステム支援対象企業を5社選定し、ユニコーン級になるまでの道のリインプットや、ヒアリング結果を基にした集中支援を実施。

② 国からの支援連携

2023年2月末に内閣府主催のマッチングプログラムに関する周知とマッチング支援をCICと連携し実施。民間企業9社へ周知を行い、1社をCICへ取次ぎ。

③ ワーキンググループ(WG)実施 プロジェクトチーム(PT)設置支援

計9回のWGを開催(全体推進WG、理事会を含む)、各WGにおいて事例などを共有いただき、参加者に今後の方向性を議論いただく運営支援を実施。

④ 都庁内及び企業連携支援

都庁内の各部署や会員企業の各種イベント等の広報による連携を実施。

⑤ 支援メニューマップの提供・発展

支援メニューマップ・支援メニューリストを四半期ごとに更新、会員企業に掲載内容の紹介を実施。

⑥ 規制緩和支援

規制緩和相談窓口を設置し運営。会員に対し規制緩和窓口の周知をメールにて実施。

⑦ イベント開催

スタートアップ支援関連団体と連携して、スタートアップやエコシステムの可能性を探るイベント等を計10回開催。(会員大学のイベント参加支援含む)7~12月に開催したイベントにつき、延べ129社、244人がイベントに参加。

⑧ 広報支援

6月から各イベントやWGに関する情報を属性ごとに計6回の告知を実施。各告知ごとに25,000を超える対象者(概算)へメールやSlackを通じて告知。

⑨ 大学間連携

12月に大学WGを開催し、大学と民間企業の連携促進に関する方針を協議。

⑩ Slackを活用した情報連携

Slackとメールを活用し、2022年4月から2023年3月にかけてWG・PT案内やイベント情報及び東京コンソーシアム
会員向けの意見照会や情報提供を随時実施。

I. エコシステム形成促進主体について(6/15)

5. 東京コンソーシアムの主な取組1(理事会・ワーキンググループの実施(1/2))

東京コンソーシアムの活動方針等を決議する理事会や各WGを以下のとおり実施。理事等の会員と常に連携しながらコンソーシアム運営を行うとともに、テーマ別WGでは、会員間の事業連携や会員の取組共有等を実施

○理事会・全体推進WG(4回)

| 理事会・全体推進WG | 日程 | 実施概要 |
|-----------------------|------|---|
| 全体推進WG(指標検討) | R4.8 | スタートアップゲノムランキングの分析結果に基づき、東京のエコシステムの課題や、東京コンソーシアムにおいて取り組むべき事項に関する議論を実施 |
| 全体推進WG (第1回理事会前検討) | R4.9 | R4年度上半期実施事項及び下半期方針の説明を行い、今後のコンソーシアムの取り組みに関する意見交換を実施 |
| 第1回理事会 | R4.9 | R4年度下半期実施方針の決議、今後の取組に関する意見交換を実施 |
| 全体推進WG (第2回理事会前検討) | R5.2 | R4年度の東京コンソーシアムの活動報告及びR5年度の活動計画案に関する意見交換を実施 |
| 第2回理事会 | R5.3 | R4年度の東京コンソーシアムの活動報告及びR5年度の活動計画案に関する承認を実施 |

○テーマ別WG(各WG1回開催)

| WG | 日程 | 実施概要 |
|----------------------|-------|---|
| 大学を中心としたエコシステム拠点強化WG | R4.12 | 大学と民間企業の起業家教育における連携促進に関する方針を協議 |
| グローバル化推進WG | R5.1 | 「海外に向けた東京のエコシステムPRの在り方」について検討 |
| DX・スマートシティWG | R5.3 | 東京圏におけるスマートシティのプロジェクト創出について検討 |
| バイオ・ウェルネスWG | R5.3 | 「創薬・再生医療・バイオテクノロジー」と「ヘルスケアサービス」におけるプロジェクト創出について検討 |

I. エコシステム形成促進主体について(7/15)

6. 東京コンソーシアムの主な取組2(イベントの実施)

コンソーシアム会員同士の連携等を促進するため、コンソーシアムの取組周知、スタートアップ会員のピッチ、国内外のスタートアップ支援機関等との連携イベント等、多様な会員向けイベントを実施

| No | 日程 | 参加人数 | イベント名 | イベント概要 |
|-----|-------|------|---|--|
| 第1回 | R4.7 | 135 | ユニコーン級企業創出に向けた機運醸成イベント | スタートアップがユニコーンになる上で必要な要素やアプローチ・支援等についてパネルディスカッションを実施 |
| 第2回 | R4.9 | 52 | ユニコーン級企業創出に向けたマインドセットイベント | ミドル・レイターステージのスタートアップが、ユニコーンへと成長するためのマインドセット醸成に向けた講演 |
| 第3回 | R4.12 | 22 | 世界から見た東京のスタートアップ・エコシステム～第一人者に聞く今後の東京のエコシステムの可能性～ | 世界のスタートアップエコシステムの動向説明や、今後東京のスタートアップ・エコシステムの取組の方向性に関する議論を実施 |
| 第4回 | R4.12 | 35 | Smart City Tokyo Startup Pitch | DX・スマートシティ領域で活躍するコンソーシアム会員スタートアップ5社によるピッチを実施 |
| 第5回 | R5.1 | 58 | グリーンスタートアップ機運醸成イベント | グリーン分野のスタートアップの成長に向けたアプローチ・支援等について講演を実施 |
| 第6回 | R5.1 | 103 | Greater Tokyo Startup & Government Pitch ～広域連携自治体の取組とスタートアップの可能性を探る | 各広域連携自治体によるスタートアップ支援の取組のガバメントピッチと、広域連携自治体推薦のスタートアップによるピッチを実施 |
| 第7回 | R5.1 | 59 | Bio Wellness Tokyo Startup Pitch | バイオテクノロジー・ヘルスケア領域で活躍するスタートアップ5社によるピッチを実施 |
| 第8回 | R5.2 | - | 東京コンソーシアム選抜・支援のスタートアップデモデイ | City-Tech.Tokyoにてディープ・エコシステム期間中の成果概要を報告するとともに採択企業による海外投資家・大企業へ向けた発表を実施 |
| 第9回 | R5.3 | 24 | BUSINESS IDEA CAMPUS | 学生と社会人を交えた、社会課題やビジネス課題に関するワークショップを実施 |

I. エコシステム形成促進主体について(8/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組3(ディープ・エコシステム(1/4))

【ディープ・エコシステム】

- 令和4年度は5社を選抜して支援を実施
- 令和5年度は5社の集中支援に向けて、東京に関心がある海外投資家を掘り起こし5社程度の誘致を予定

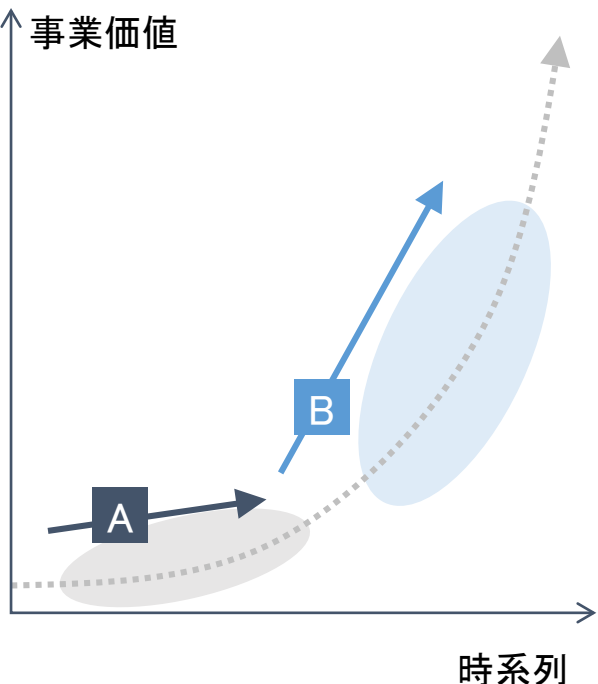
ディープ・エコシステムの考え方

- 時価総額が高いだけでなく、イノベーションを社会実装する質の高いユニコーン級企業を創出するために、少数精鋭のプレイヤーとコンソ会員が緊密に連携し、スタートアップの成長を支える
- “ディープ・エコシステム”を形成

スタートアップの成長ステージ

成長に向けた課題例

必要なエコシステムの種別



B
ビジネスが
突き抜ける
フェーズ

A
ビジネスを
立ち上げる
フェーズ

- ✓ 技術やビジネスモデルのブレークスルーを起こせない
- ✓ 顧客リテラシーが課題で技術・商品の魅力が伝わらない
- ✓ ここが動けば、業界が変わる「分水嶺」にあたるキーマンにアクセスできない

- ✓ 事業の立上げ方がわからない
- ✓ 事業計画、収支計画の作成方法がわからない
- ✓ 大企業との付き合い方がわからない
- ✓ マネタイズ化のタイミングがわからない

ディープ・エコシステム

- ・ 個別のビジネス分野ごとにおいて、そのビジネスのブレークスルーを支援する「ディープ」なエコシステム
- ・ 個別分野に特化した専門性を持つ大学・民間の研究室、企業の事業部門、投資家・アドバイザー等によって構成

面のエコシステム

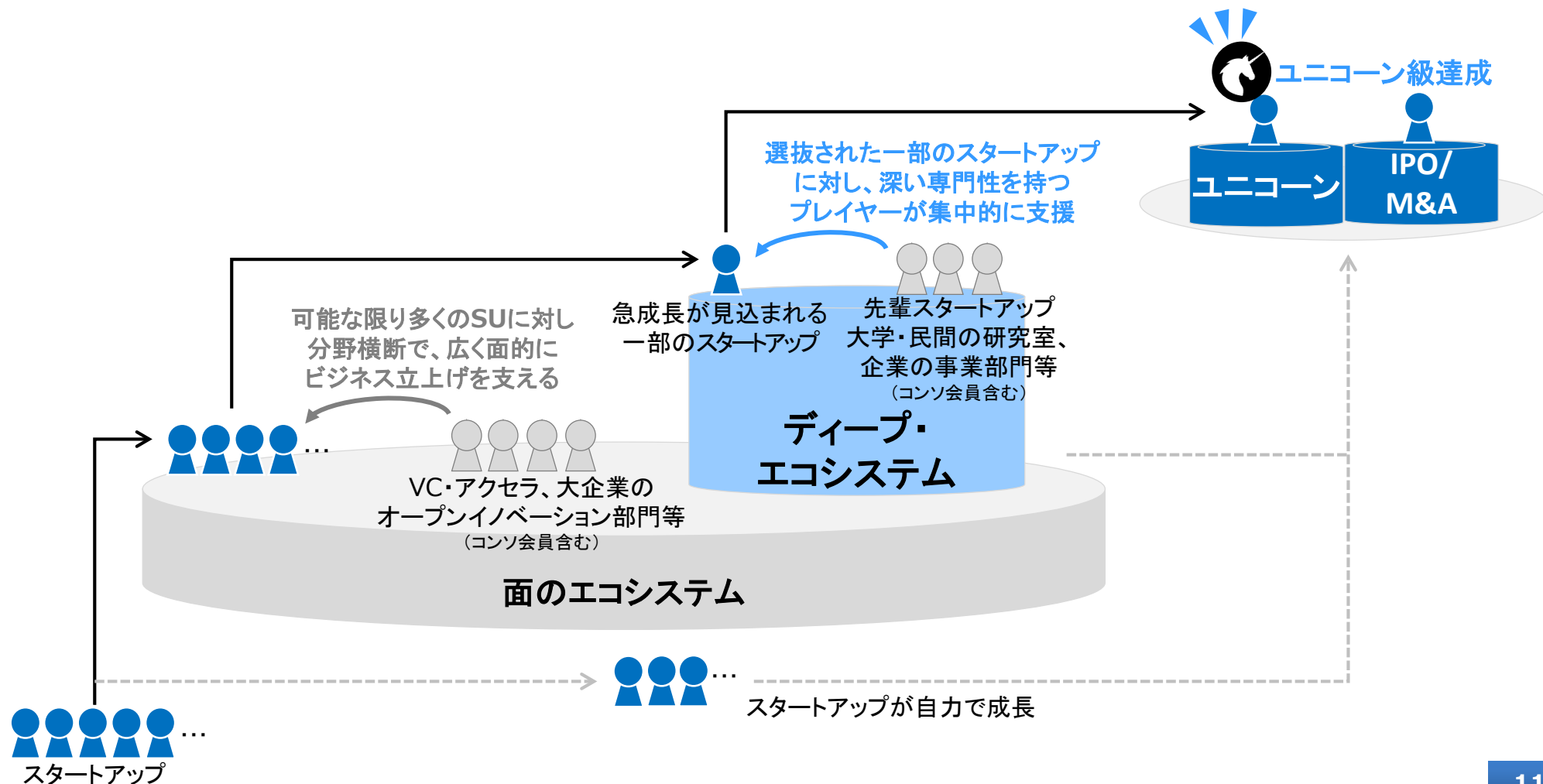
- ・ 分野横断で、広く面的にスタートアップ全体のビジネス立上げを支えるエコシステム
- ・ 先輩起業家・メンター、インキュベーター等、特定領域に限定されないプレイヤーによって構成

I. エコシステム形成促進主体について(9/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組3(ディープ・エコシステム(2/4))

【ディープ・エコシステムの概念図】

既存の「面のエコシステム」では可能な限り多くのスタートアップに対してビジネスの立ち上がりを支援しつつ、レイターステージ期において、今後急成長が見込まれるスタートアップを選抜の上で集中的に支援する「ディープ・エコシステム」を新設し、ユニコーン級への成長を強力に後押し



I. エコシステム形成促進主体について(10/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組3(ディープ・エコシステム(3/4))

取組2年目となる令和4年度は、会員と事務局が推薦したスタートアップを事務局で精査した後、コンソ
理事(著名VC)、先輩ユニコーン級SU、アカデミア、法務専門家、海外VC等の計10名で構成される
審査会にて選定を行った。審査の結果、ディープ・エコシステム応募52社から、ユニコーン級へと急成
長が期待できる以下5社を選定した。

令和4年度 ディープエコシステムでの支援実績(支援先企業)(1/2)

inQs株式会社



- オフィスビルの自家発電用途として、可視光を通しながら赤外線・紫外線で太陽光発電できる無色透明の窓ガラスを開発。
- 一般のガラス同様に可視光を透過しつつも、赤外光を吸収(遮熱)する特長を活かし、どんな場所でも、デザイン性の高い省エネルギー発電・遮熱ガラス材料としての用途開拓が可能。

株式会社RevComm



- 電話営業やコンタクトセンター業務における会話の内容を解析し、商談獲得率・成約率を向上させる音声解析AI電話サービス「MiiTel」を展開。
- 社員のセルフコーチングや、正確な情報共有への活用により商談獲得件数の増加や社員の作業時間の縮小等の効果をあげている。

I. エコシステム形成促進主体について(11/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組3(ディープ・エコシステム(3/4))

令和4年度 ディープエコシステムでの支援実績(支援先企業)(2/2)

TechMagic株式会社

The logo for TechMagic, featuring the word "TECHMAGIC" in a bold, red, sans-serif font with a stylized red dot above the letter "I".

- 大手外食チェーンの厨房内における一連の調理工程を、ハードウェアとソフトウェア両方の技術を高度に融合して自動化する調理ロボット事業を展開。
- 高い調理技術の再現や調理工程の効率化により、外食産業の人手不足解消が期待されている。

株式会社イノフィス

The logo for Innophys, featuring a stylized blue starburst icon to the left of the word "INNOPHYS" in a blue, sans-serif font.

- 空気圧で稼働する人工筋肉のはたらきで動作を補助する装着型の作業支援ロボット(アシストスーツ)「マッスルスーツ」シリーズを展開。
- 同社の技術は通常時直径1.5インチ130g、5気圧で最大200kgfの引張力を発生させ、動作補助を行う。

ヒューマンライフコード株式会社

The logo for Human Life CORD JAPAN, featuring a green leaf-like icon above the text "Human Life CORD" and "JAPAN" in a black, sans-serif font.








- 再生医療等製品及び医療機器の研究開発・製造・販売。臍帯(へその緒)などの医療廃棄物を臨床使用へ利活用する研究開発を展開。
- 「ドナーや環境への負担が少ない」、「製造が容易」、「持続性・安定性がある」といった点を活かし再生医療へ貢献。

I. エコシステム形成促進主体について(12/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組3(ディープ・エコシステム(4/4))

厳選した対象企業に対して、各社のニーズを踏まえ、コンソーシアム全体で支援を実施

【主な支援実施例】

| | | |
|---|---|---|
| 野望と、 達成の道のり を描く | ユニコーン級までの道のりを インプット  | <ul style="list-style-type: none">資本政策の専門家から資本政策やエクイティ・ストーリーなど、ユニコーン級に向けたノウハウをインプットIPOを達成した先輩SUから経験に基づいたノウハウをインプット |
| | 3月末時点 達成目標を決定  | <ul style="list-style-type: none">インプットを踏まえて、ユニコーン級になるまでの道筋、及びその道筋の中で、3月末までに何を達成するかを決定個社ごとに専属の伴走担当者を用意 |
| 野望達成に 向けた 各種支援 (ニーズに 応じて支援) | 人材・チーム組成  | <ul style="list-style-type: none">人材機構サービスの紹介による人材獲得の支援派遣会社やコンソーシアム内外の有識者との引き合わせ |
| | 事業計画策定  | <ul style="list-style-type: none">事業計画・数値計画資料の作成等のナレッジ共有東京都関連事業の紹介による自治体などとの連携促進支援 |
| | 資本政策策定  | <ul style="list-style-type: none">上場に向けた資本政策策定支援 |
| | 資金調達  | <ul style="list-style-type: none">海外投資支援企業、PEファンド、コンソーシアム内外の有識者との引き合わせ補助金及び助成金の獲得先・獲得方法の支援 |
| | 海外市場展開  | <ul style="list-style-type: none">海外投資支援企業や協業パートナー、PEファンド等コンソーシアム内外の有識者との引き合わせ海外イベントの紹介等による販路拡大支援 |

I. エコシステム形成促進主体について(13/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組4 (グリーンスタートアップ支援(1/3))

今年度新たな取り組みとしてグリーン分野等のスタートアップを5社選抜、集中的支援を実施。コンソーシアムの持つネットワークや、既存のディープエコシステムの枠組みを活用した支援を実施。

令和4年度 グリーンスタートアップ支援での支援実績(支援先企業)(1/2)

PJP Eye株式会社



- ニッケル、マンガン、コバルトなどのレアメタルを必要としないカーボンバッテリーであるため、掘削にかかる環境負荷をかけず、CO2削減にも貢献でき、持続可能な開発が可能
- 使用するカーボンはリサイクル可能で、環境負荷の低い物質を使い廃棄も容易、発火リスクもなく安全・安心なバッテリーで、性能面も5倍以上の充電速度と10倍の長寿命性

株式会社Helical Fusion

Helical Fusion

- 核融合は石油や天然ガスなど貴重な地下資源の消費を抑えつつ、二酸化炭素や高レベル放射性廃棄物を排出することなく、また天気や地球規模の気候変動にも左右されることなくエネルギーを供給可能
- 独自の最先端技術を取り入れた磁場閉じ込め方式で世界初の定常核融合炉の開発、核融合エネルギーの早期実現に取り組む

I. エコシステム形成促進主体について(14/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組4 (グリーンスタートアップ支援(2/3))

【令和4年度 グリーンスタートアップ支援での支援実績】(2/2)

エイターリンク株式会社



- 自動化が進む工場のエッジデバイスを配線・バッテリー不要のWPT化し、断線等の問題解消で生産性を向上、環境負荷も抑制
- オフィス空間の環境センサーのWPT化で人の近傍・体内の情報を正確かつ即時に取得し、環境を最適化しCO2排出量を削減

株式会社センシンロボティクス



- 点検アプリケーション、データ分析・ロボット制御プラットフォーム、データ収集ロボット・デバイスをワンストップで提供し、設備点検、災害対策、警備・監視等の業務の完全自動化を目指す
- 太陽光発電施設、通信・送電鉄塔等の設備点検や、災害時広報、被災状況確認、建設進捗管理、巡回監視等を効率化

つばめBHB株式会社










- 従来の技術では化石燃料による高温・高圧での大量一極集中生産が必要となり、CO2排出や輸送・貯蔵コストの問題がある中、「低温・低圧アンモニア合成によるオンサイト生産(必要な量のアンモニアを必要とされる場所で生産)」技術を確立
- 輸送・貯蔵コストの低減、環境負荷の抑制、水素活用、送電線の不足などで活用しきれない再生可能エネルギーの活用等に寄与

I. エコシステム形成促進主体について(15/15)

7. 東京コンソーシアムの主な取組4 (グリーンスタートアップ支援(3/3))

厳選した対象企業に対して、各社のニーズを踏まえ、コンソーシアム全体で支援を実施

【主な支援実施例】

| | | |
|---|---|--|
| 野望と、 達成の道の りを描く | 野望達成までの道のりを インプット  | <ul style="list-style-type: none">グリーン分野等に関連する先輩スタートアップが経験に基づいたインプットを実施 |
| | 3月末時点 達成目標を決定  | <ul style="list-style-type: none">インプットを踏まえて、野望を達成するまでの道筋、及びその道筋の中で、2024年3月末までに何を達成するかを決定個社ごとに専属の伴走担当者を用意 |
| 野望達成に 向けた 各種支援 (ニーズに 応じて支援) | 人材・チーム組成  | <ul style="list-style-type: none">人材機構サービスの紹介による人材獲得の支援派遣会社やコンソーシアム内外の有識者との引き合わせ |
| | 事業計画策定  | <ul style="list-style-type: none">事業計画・数値計画資料の作成等のナレッジ共有東京都関連事業の紹介による自治体などとの連携促進支援 |
| | 資本政策策定  | <ul style="list-style-type: none">上場に向けた資本政策策定支援 |
| | 資金調達  | <ul style="list-style-type: none">海外投資支援企業、PEファンド、コンソーシアム内外の有識者との引き合わせ補助金及び助成金の獲得先・獲得方法の支援 |
| | 海外市場展開  | <ul style="list-style-type: none">海外投資支援企業や協業パートナー、PEファンド等コンソーシアム内外の有識者との引き合わせ海外イベントの紹介等による販路拡大支援 |

II. 地方自治体の取組(1/7)

1. 首長の方針(小池都知事発言)

(東京都議会令和2年第三回定例会 知事所信表明 令和2年9月18日)

- 人々の生活を大きく変革するサービスをグローバルに展開しているアメリカの巨大IT企業も、かつては若い起業家たちが立ち上げた小さな一企業でありました。最先端のニーズを機敏に捉え、新たな製品やサービスを次々と生み出すスタートアップの育成は、東京のさらなる成長に欠かせません。
- 今般、東京は、スタートアップの育成環境を評価する都市ランキングに初めてランクインし、全体で15位、アジアでは北京、上海に次ぐ3番目の評価を受けました。また、東京の集積を活かした連携により、イノベーションの創出を図る「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」が、このたび、国の定める「グローバル拠点都市」に選定されたところであります。
- これらを追い風に、引き続き、世界に誇るスタートアップ都市を目指した多彩な施策を展開し、「東京発」の新たなビジネスを強力に押し進めてまいります。

2. 東京都におけるスタートアップ支援組織

【担当部署】

- スタートアップ・国際金融都市戦略室
戦略推進部スタートアップ推進課
- 上記他、政策企画局、総務局、財務局、
デジタルサービス局、生活文化スポーツ局、
産業労働局、港湾局の関係部署
- 各局に兼務の担当課長を設置

- 東京都におけるスタートアップ支援は、都及び政策連携団体がそれぞれの得意分野を活かし、的確な支援ができるよう、取組を推進
- スタートアップ協働戦略「Global Innovation with STARTUPS」の策定(令和4年11月)を受け、R5年4月に組織改正を実施するとともに、今後東京都とスタートアップとの協働による課題解決の取組を更に加速

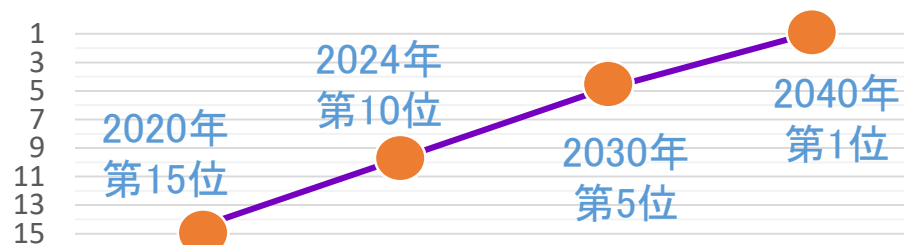
II. 地方自治体の取組(2/7)

3. 東京都の主なスタートアップ支援事業(1/3) 東京都の目指す方向性

【東京都の目指す方向性】

「『未来の東京』戦略」(2021年3月)

- 2040年までに“次々と新しい産業が生まれる世界一のスタートアップ都市・東京”の実現を目指し、「東京コンソーシアム」が推進母体となり、実現に向けた取組を進めている。



東京都としても、「未来の東京戦略」の中で、スタートアップ・エコシステム・ランキングにおいて、2030年までに世界第5位を目指している。

「『未来の東京』戦略 version up 2022」(2022年2月)

- “イノベーション・エコシステムの深化”を目指すとともに、“エコシステムの内外への情報発信”を積極的に行うことで、東京コンソーシアムの取組を更に強化する。
- 「スタートアップ協働戦略 ver.1.0」(2022年2月)を策定し、東京都とスタートアップとの協働により「未来の東京」を共創していく。

「スタートアップ・エコシステム 東京コンソーシアム」等の重点強化

イノベーション・エコシステムの深化

情報プラットフォームを構築

オンラインコミュニケーションツールを活用し、会員同士が相互につながる場を創出

ディープ・エコシステム形成

海外展開を視野に入れた有望なスタートアップに対し集中支援を実施

WG・PTの組成を支援

会員間のコラボレーションを支援し、産官学が連携するエコシステムを形成

エコシステム内外への情報発信

支援情報を一元的に発信

都のスタートアップ支援メニューをまとめ、分かりやすく可視化

国際的な発信を強化

海外VC等呼び込むイベントを開催するほか、エコシステムに係る指標をダッシュボード等で公開



コンソーシアムの強化とスタートアップとの協働等により、**世界へ羽ばたくスタートアップを輩出**

社会課題解決に向け、「スタートアップ協働戦略 ver.1.0」を推進

- ✓ VCや大手企業など多様な主体と連携し、協働の取組を更に推進
- ✓ スタートアップ等が入居する支援拠点へ都職員を派遣するなど、幅広い協働の取組を支える仕組みを構築
- ✓ ワンブランドでの情報発信など、スタートアップと都職員とのコミュニケーションを深化



II. 地方自治体の取組(3/7)

3. 東京都の主なスタートアップ支援事業(2/3)

【スタートアップ支援に関する主な個別事業(令和4年度予算)】

①エコシステム形成支援業務(2億2百万円)

- ・ 大手企業や、投資家、大学、研究機関、創業支援機関など様々な関係者が連携してイノベーションの創出を図る「エコシステム」の形成促進に向けた支援・取組を実施

②創業支援拠点の運営(11億69百万円)

- ・ 創業希望者を掘り起こし、裾野を広げるとともに、起業に対する不安を解消するため、創業に関心のある誰もが利用でき、情報提供から事業化支援までをワンストップで行う拠点を開設

③次世代アントレプレナー育成プログラム(1億34百万円)

- ・ 次世代を担う若者を対象としたビジネスプランコンテストを開催し、起業に挑戦する機会を提供する。ファイナリストには、経営者としての資質やリーダーシップを磨くための育成メニューも提供

④スタートアップ総合支援拠点の運営(旧:共存共栄を図るベンチャー育成事業)(4億55百万円)

- ・ 成長志向のあるベンチャー企業の更なる成長を支援するために、国や地域、業種・業界を超えた連携関係・事業組成を生み出すための支援施設を設立・運営するとともに、育成プログラムを実施

⑤スタートアップ・グローバル交流HUB事業(6億36百万円)

- ・ 有望な都内スタートアップの海外進出とスケールアップをサポートするため、海外の展示会・大規模ピッチ会に参加する海外現地プログラムを実施。また、有望な海外スタートアップを東京に呼び込む交流プログラムを実施

II. 地方自治体の取組(4/7)

3. 東京都の主なスタートアップ支援事業(3/3)

⑥創薬系オープンイノベーション支援事業(1億57百万円)

- 製薬企業、支援機関、投資家等が集積する東京の強みを活かし、創薬・医療分野におけるオープンイノベーションの促進を支援

⑦キングサーモンプロジェクト(King Salmon Project)(4億25百万円)

- スタートアップと都政課題のマッチング、都政の現場を活用した先行導入と販路拡大のための戦略立案等の支援、事例のモデル化による水平展開を通じて、今後のロールモデルとなるような、グローバル市場を席捲する課題解決型のスタートアップ企業(「キングサーモン企業」)を東京から輩出

【スタートアップ協働戦略「Global Innovation with STARTUPS」】 令和4年11月策定

- この戦略では、グローバルx10、裾野拡大x10、官民協働x10で未来を切り拓く「10x10x10のイノベーションビジョン」を掲げています。

※ 本戦略は次のWebページで公開しています。

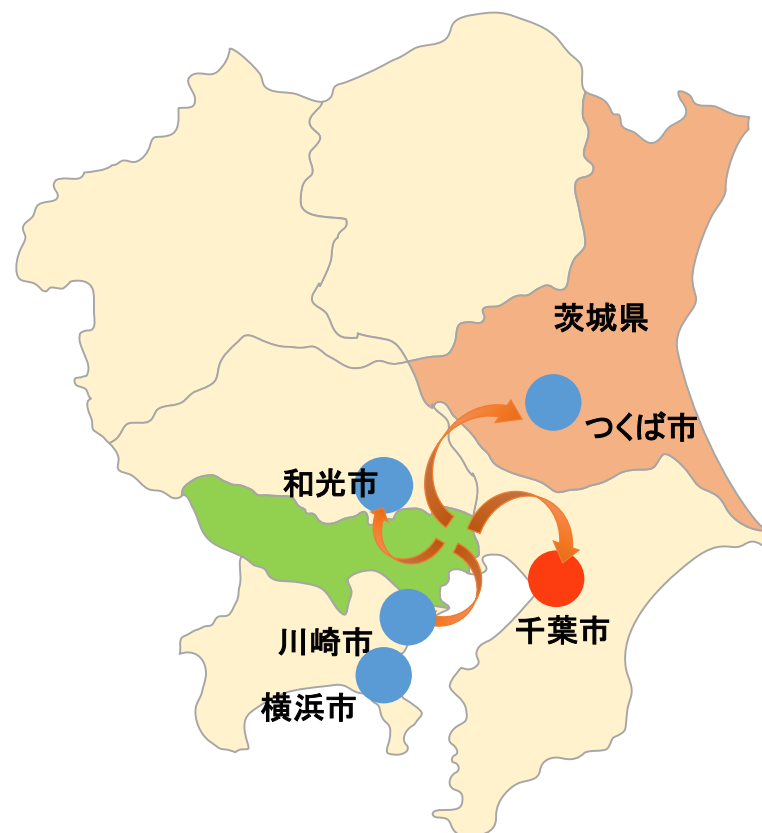
https://shintosei.metro.tokyo.lg.jp/post_cp5_tokyo-with-startup2/



Ⅱ. 地方自治体の取組(5/7)

4. 他の自治体等との連携

- 会員自治体との間で取組状況・課題の共有、Slackを活用した相互の情報発信等を実施。互いのイベントにも登壇する等の連携も実施。
- 会員自治体において連携や支援をしたスタートアップに対し、コンソーシアムへの入会やイベント登壇等、コンソーシアムの取組に参加してもらう流れを形成。
- 広域連携自治体等においても、各都市の特色を活かした積極的なエコシステム形成の取組が展開、自治体同士のコラボレーションも進行。(広域連携自治体等(川崎市、横浜市、つくば市、茨城県、渋谷区)の取組は別添資料を参照)
- 令和4年6月には千葉市がコンソーシアムに入会。コンソーシアムに新たな範囲が加わり、自治体により広域に連携することで、更なるスタートアップ支援に取り組んでいく。
(千葉市の取組は別添資料を参照)



II. 地方自治体の取組(6/7)

5. 国の施策との連携

- 内閣府「スタートアップ・エコシステム形成推進事業」拠点都市8カ所のスタートアップを対象とした「スタートアップシティ・アクセラレーションプログラム」において、東京コンソーシアムより、「優先枠」企業(参加審査免除):6社、「推薦枠」(参加審査時優遇)企業:9社、計15社を選出。
- JST令和3年度大学発新産業創出プログラム(START) 大学・エコシステム推進型について、東京コンソーシアムから東京大学、早稲田大学、東京工業大学を主幹機関としたGreater Tokyo Innovation Ecosystem(GTIE)が採択され、大学、企業、VC、アクセラレーター、自治体等が連携して、グローバルな大学発スタートアップの育成・創出を目指し取組を実施している。
- JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)の令和3年度新規採択プロジェクトとして、慶應義塾大学を代表機関とした「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスコモンズ共創拠点」が採択。大学、企業、スタートアップ、自治体等が連携し、高齢化社会における課題を解決するサービスの開発・実装を目指す取組を実施している。
- 令和3年度内閣府補正予算による「スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラム」について、東京都からディープレック系スタートアップを海外派遣及び受け入れるプログラム案を申請し、採択。

II. 地方自治体の取組(7/7)

6. スタートアップ調達

■東京都トライアル発注認定制度

・都内中小企業者(スタートアップを含む)の新規性の高い優れた新商品及び新役務(サービス)の普及を支援するため、東京都が新商品等を認定してPR等を行うとともに、その一部を試験的に購入し評価する制度

→認定商品数5件、試験購入した認定商品3件(令和4年度実績)

■UPGRADE with TOKYO

・都政課題の解決に資するこれまでにない製品・サービスを提供するスタートアップによるピッチイベントを開催し、行政機関、VCや企業等との交流の場を創出するイベントを実施

→ピッチイベント8回、プロジェクト創出数14件(令和4年度実績)

■キングサーモンプロジェクト(King Salmon Project)

・スタートアップと都政課題のマッチング、都政の現場を活用した先行導入と販路拡大のための戦略立案等の支援、事例のモデル化による水平展開を通じて、今後のロールモデルとなるような、グローバル市場を席捲する課題解決型のスタートアップ企業(「キングサーモン企業」)を東京から輩出【再掲】

→協働プロジェクト数3件(令和4年度実績)

Ⅲ. 民間組織の取組(1/3)

東京では、地域で活動するVCやアクセラレーター、大企業・中堅企業が各々の強みを活かしてスタートアップ支援に取り組んでいる。主な活動実績(取組の概要)は以下のとおり

| 企業名 | 主な取組の概要 |
|-----------------------------|---|
| JVCA | <ul style="list-style-type: none"> VCのネットワーク拡大、連携強化を目的として定期的にセミナーを実施。 独立系、金融系、大学、CVCなど多様なキャピタリストが参加する。 |
| (株)東京大学エッジキャピタルパートナーズ(UTEC) | <ul style="list-style-type: none"> 新ファンド(UTEC5号投資事業有限責任組合)組成(2021年5月7日設立)し、同7月1日にファンドサイズ304.1億円で募集完了、ファンドサイズの過半が運用系機関投資家に。 UTEC Founders Program: Equity Track(創業直後からプレシリーズA前後のスタートアップに対して、ファンドから上限1億円の投資を行うプログラム)とGrant Track(創業前から外部調達前のスタートアップ/チームに対して、事業化支援プログラムと事業化支援資金(株式や借入でない返済不要の補助金)を提供するプログラム)の2種類のプログラムを実施 |
| (株)慶應イノベーション・イニシアティブ(KII) | <ul style="list-style-type: none"> 慶應義塾大学「健康医療ベンチャー大賞」において、審査委員長、1次・2次メンター、協賛企業として協力 慶應義塾大学大学院理工学研究科のアントレプレナー育成講座において、寄付及び講師、メンターとして協力 エコシステムへの資金循環とハンズオン支援を実施 デジタル・テクノロジー領域と医療健康領域のディープテックスタートアップ8社へ新規投資実行 |
| 三井不動産(株) | <ul style="list-style-type: none"> 産学の有志と設立した一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)において、ライフサイエンス分野での新産業創造をめざしたイベントを多数開催 ライフサイエンス領域:国内外のアカデミアやベンチャーキャピタルを集積、グローバルな連携の促進を目的としたライフサイエンス拠点「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」の運営 ライフサイエンスビルシリーズ等にてスタートアップをはじめとする各プレイヤーが利用できる場を提供。 X-NIHONBASHI Global Hubや、スタートアップを含む宇宙ビジネスプレイヤーのビジネス展示会などを行うNIHONBASHI SPACE WEEKを開催 一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム(FIRM)が以下のイベント・プログラムを実施。 FIRM ベンチャー創設支援フォーラム:起業に関心のあるアカデミア研究者・起業家向けに、ニーズに基づくトレンド、技術情報等を提供。 FIRM's 起業塾:ベンチャー企業の立上を考える研究者向けに、各テーマの専門家から起業に資するノウハウを提供。希望者には、講演者との1-on-1を実施。 大人起業家のための事業構想から実際の起業までの伴走支援プログラムである「Swing-By」の実施。 |

Ⅲ. 民間組織の取組(2/3)

東京では、地域で活動するVCやアクセラレーター、大企業・中堅企業が各々の強みを活かしてスタートアップ支援に取り組んでいる。主な活動実績(取組の概要)は以下のとおり

| 企業名 | 主な取組の概要 |
|-----------|--|
| 三菱地所(株) | <ul style="list-style-type: none"> 大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)にてTMIPパートナーVC等と連携し、イベントを実施 スタートアップのインキュベーションを行う施設の運営及び誘致を実施 スタートアップの取り組みを紹介するオウンドメディア「xTECH Web」、スタートアップ向けのオープンイノベーションコミュニティThe M Cube、起業家支援を行う「有楽町「SAAI」Wonder Working Community」の運営 |
| 森ビル(株) | <ul style="list-style-type: none"> スタートアップ等が入居する「CIC Tokyo」、インキュベーションセンター「ARCH」やVCが集積する「KaleidoWorks」の運営 アクセラレーター・人材育成「Next Innovator」の始動 資金調達を目指すシード/アーリーステージ起業家のための、起業家・投資家合同経営合宿「Incubate Camp」の開催 インターネット業界の第一線で活躍する経営者等が集結する日本最大規模の招待制カンファレンス「B Dash CAMP」開催 |
| 東急(株) | <ul style="list-style-type: none"> 東急アライアンスプラットフォーム(TAP) : Demo Day(TAPの応募スタートアップと東急グループの事業共創ピッチを実施) グローバルスタートアップ育成機関「シブヤスタートアップス株式会社」設立(渋谷区・東急・東急不動産・GMO) クリエイティブ・コンテンツ企業やスタートアップ、クリエイターが集積する渋谷において共創施「SHIBUYA QWS」、「Shibuya Open Innovation Lab」(SOIL)などを運営 |
| 東急不動産(株) | <ul style="list-style-type: none"> Plug and Play Shibuya や優れた技術やアイデア持つスタートアップやVCが集うインキュベーションオフィスGUILD、東急不動産が中心となりイノベーションを誘発するコンソーシアムとなるニュートラルイノベーションベース(NIB)など、スタートアップ支援施設8施設の運営を実施 2023年2月に渋谷区・GMO・東急不動産・東急社でグローバルスタートアップ育成期間である「シブヤスタートアップス株式会社」を設立 |
| 東京商工会議所 | <ul style="list-style-type: none"> スタートアップ・中小企業マッチングイベント、起業家講演会(4大学で実施)、創業ゼミナール、創業相談の実施 |
| 日本経済団体連合会 | <ul style="list-style-type: none"> 「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して」を公表(2022.3.15) 提言事項の実現状況と残された課題を評価するレビューブックを発行 「日本を世界有数のスタートアップ集積地に」を柱の一つに掲げ、実現に向けた各種政策を提言 大企業の行動変容を図るべく、自社がスタートアップにどれだけフレンドリーかの度合いを見える化する「スタートアップフレンドリースコアリング」を実施、約150社が回答 |

III. 民間組織の取組(3/3)

1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

東京に集積する様々なVCやアクセラレーターが、各地域の中核企業や大学、政府機関等と連携しながら、継続的にスタートアップ支援活動を展開

日本ベンチャーキャピタル協会:

VCのネットワーク拡大・連携強化を目的として、独立系、金融系、大学、CVCなど多様なキャピタリストが参加し、定期的にセミナーを実施

渋谷エリア関連:

・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
シリコンバレーに本社を置くVC及びアクセラレーター。大手企業とスタートアップの事業連携を目的としたアクセラレートプログラムを実施。スタートアップ支援のみにとどまらず、パートナー企業同士を繋げるイベントを定期的実施するなど、スタートアップコミュニティの構築に貢献。
・東急アライアンスプラットフォーム(TAP)
東急グループの事業者が持つ様々なアセットやリアル顧客接点等を活用し、用途開発支援と社会実装支援を行うスタートアップ支援プログラム。企業からの応募の通年の受付及びDemoDayの実施。

六本木・赤坂・虎ノ門エリア関連:

・CIC Tokyo
国内最大級のスタートアップ向けコワーキング。約200社を超えるスタートアップ及びスタートアップ支援企業等が入居。年間200回以上のイベントを開催。
・KaleidoWorks
多くのベンチャーキャピタルが集積するラウンジ付ワークプレイス。ベンチャーキャピタルによるスタートアップ企業へのハンズオンによる事業拡大の支援や起業家やキャピタリスト人材の育成プログラムなどが開催される。
・アクセラレーター、人材育成
WiL等、政府機関や企業のアクセラレータープログラムの運営を支援する様々なプレーヤーが拠点を構え活動を行っている。

東大エッジキャピタルパートナーズ(UTEC)

・新ファンド(UTEC5号投資事業有限責任組合)組成(2021年5月7日設立、ファンドサイズ304.1億円)
・UTEC Founders Program
Equity Track(創業直後からプレシリーズA前後のスタートアップに対して、ファンドから上限1億円の投資を行うプログラム)とGrant Track(創業前から外部調達前のスタートアップ/チームに対して、事業化支援プログラムと事業化支援資金(株式や借入でない返済不要の補助金)を提供するプログラム)の2種類のプログラムを実施

慶應イノベーション・イニシアティブ(KII)

・慶應義塾大学「健康医療ベンチャー大賞」開催(審査委員長、1次・2次メンター、協賛企業として協力)
・慶應義塾大学大学院理工学研究科「慶應イノベーション・イニシアティブ寄付 アントレプレナー育成講座」(寄付、講師、メンターとして協力)
・東京都主催City-Tech.Tokyoに参加し、慶應義塾大学のブースにてKIIの投資先を紹介

大手町・丸の内・有楽町エリア関連:

・Tokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)
三菱地所が大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTMIPにてTMIPパートナーVC等と連携し、イベントを実施
・スタートアップ向けシェアオフィスであるInspired.LabやFINOLABにて、VCやアクセラレーターとのイベントを実施。
・オープンイノベーションコミュニティThe M Cubeにて、メンターVCとの連携によるイベントを実施。

日本橋エリア関連:

・GLOBAL LIFESCIENCE HUB
三井不動産が日本橋室町三井タワーにライフサイエンス領域のVCが集積し、協業するための施設として運営
・BRAVE(2016年から毎年開催しているディープテックに特化した事業化支援プログラム)やX DOJO(XR、ロボティクス、AI分野のシード、プレ・シード期のスタートアップ対象のアクセラレータープログラム)等のディープテック・ハードテック系スタートアップ支援プログラムを実施

Ⅲ. 民間組織の取組(4/3)

2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組

経団連: 提言「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して」を公表(2022.3.15)。「日本を世界有数のスタートアップ集積地に」を柱の一つに掲げ、実現に向けた各種政策を提言

東京商工会議所: スタートアップ・中小企業マッチングイベントの実施や、学生に対する起業家講演会、創業ゼミナール事業、創業相談の実施

渋谷エリア: IT・クリエイティブコンテンツ系企業の集積

(東急不動産)

・GUILDシリーズ

優れた技術やアイデア持つスタートアップやVCが集うインキュベーションオフィスを渋谷周辺で6拠点開設。VCと出資先スタートアップが居を構え、密度の濃いハンズオンを実施。

・ニュートラル・イノベーション・ベース(NIB)

東急不動産が中心となりイノベーションを誘発するコンソーシアムを開始

(東急)

・SHIBUYA QWS ※子会社である渋谷スクランブルスクエア株式会社が運営:

日本のスタートアップエコシステムにおいて課題とされているシード支援・Exitのうち主にシードの支援をするために、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、新たな社会価値の創出を加速させるオリジナルのプログラムやイベント、コミュニティの醸成に取り組む。

日本橋エリアほか: AI・ライフサイエンス関連のイノベーション拠点

(三井不動産)

- ・ LINK-Jにてライフサイエンス領域におけるエコシステム形成についてスタートアップ、大企業、官公庁、業界団体などのコミュニティを形成、スタートアップ支援・産学連携支援を実施。
- ・ X-NIHONBASHI Global Hubや、スタートアップを含む宇宙ビジネスプレイヤのビジネス展示会などを行うNIHONBASHI SPACE WEEKを開催
- ・ 一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム(FIRM)が以下のイベント・プログラムを実施。
FIRM ベンチャー創設支援フォーラム: 起業に関心のあるアカデミア研究者・起業家向けに、ニーズに基づくトレンド、技術情報等を提供。
FIRM's 起業塾: ベンチャー企業の立上を考える研究者向けに、各テーマの専門家から起業に資するノウハウを提供。希望者には講演者との1-on-1を実施。
- ・ 大人起業家のための事業構想から実際の起業までの伴走支援プログラムである「Swing-By」の実施。

六本木・赤坂・虎ノ門エリア: 外資系企業が集まる国際ビジネス拠点

(森ビル)

・虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」

年間200回以上のセミナー、イベントを開催。約110社の国内大企業が新規事業の創出に取り組む。

・KaleidoWorks

独立系VC3社、JVCAが入居するラウンジ併設型オフィス。JVCAのイベントをはじめ、各社が支援するスタートアップ企業の支援等を行う。

・メディア連携

テレビ東京やJ-WAVE等のメディアと連携して番組放映やイベントを行うことで、オープンイノベーションの促進・事例発信を実施

大手町・丸の内・有楽町エリア: 日本有数の大企業が集積する中心地

(三菱地所)

- ・ 大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)を運営
- ・ スタートアップのインキュベーションを行う施設の運営及び誘致を実施
- ・ 起業家支援を行う「有楽町「SAAI」Wonder Working Community」の運営
SAAIプロデューサーにより情報発信をイベントで実施
- ・ スタートアップの取り組みを紹介するオウンドメディア「xTECH Web」、スタートアップ向けオープンイノベーションコミュニティThe M Cubeの運営

IV. 大学の取組(1/5)

- 東京コンソーシアム会員として2023年6月時点で30の大学・研究機関が加盟
- 各大学を拠点としたエコシステム形成の取組が進行

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組(1/2)

| 大学名 | 主な取組の概要 |
|----------|---|
| 慶應義塾大学 | <ul style="list-style-type: none">第7回健康医療ベンチャー大賞(2022年12月18日開催)→ ビジネスコンテスト。学生部門と社会部門がある第22回慶應義塾科学技術展「KEIO TECHNO-MALL」(2022年12月2日開催) → 産官学連携のきっかけとなるJST START事業(大学・エコシステム推進型 スタートアップ・エコシステム形成支援)において、GTIE Pre Demo Day(2022/11/30)およびGTIE Demo Day(2023/3/3)を開催Research Studio。AMED橋渡し事業の一環としてスタートアップ創業前後の研究者、チームを3か月支援。Stanford大学SPARKやCalifornia大学San Diego校(UCSD)と連携。 |
| 順天堂大学 | <ul style="list-style-type: none">医学系スタートアップの個別(ハンズオン)支援起業に関する勉強会『事業立上げ時の事例紹介』、『起業するまでのステップとそのリアル』英国のスタートアップ支援プログラムとの情報交換順天堂大学AIインキュベーションファーム主催プログラムの実施産学官民連携促進のプログラム「AI Incubation Farm Partners」会員制度の開始 |
| 東京大学 | <ul style="list-style-type: none">民間企業からの支援を受け、東大の卒業生・研究者・学生を対象とした起業支援プログラム「東京大学FoundX」を実施柏市と共に柏の葉地域における「産学協創プラットフォーム拠点」として整備された「柏Ⅱキャンパス産学官民連携棟」にて、インキュベーション施設の入居者への起業環境の提供や、オープンラボでの新規産業創出を目指した共同研究等の実施科学技術振興機構(JST)「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の共同主幹機関として起業活動支援プログラム(GAP ファンド)の一部を実施担当 |
| 東京工業大学 | <ul style="list-style-type: none">科学技術振興機構(JST)START「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」実施中(2021-2025年度)「東工大発ベンチャー」称号授与制度「Tokyo Tech OPen innovation(TTOP)」をオープンイノベーションの推進及び東工大発ベンチャー企業へのネットワーキング及びビジネスチャンスや人材・資金のマッチング機会の提供のため開催東工大学生/教員向け起業支援プログラムの実施東工大発やGTIE関係者発のスタートアップのほか支援機関等が集結しイノベーションを加速させるためのインキュベーション施設の提供 |
| 東京医科歯科大学 | <ul style="list-style-type: none">東京都との連携「創薬・医療系オープンイノベーションに資する大学保有機器等の共用に関する協定」に基づき、東京都内に事業所を有するスタートアップ企業へ本学の保有する機器等を共用し、研究等へ支援「オープンイノベーションとヘルスケア・サイエンス拠点の形成を目指す医療現場・研究現場発イノベーションコミュニティTIP(TMDU Innovation Park)を、三菱地所と共同で企画・運営 |

IV. 大学の取組(2/5)

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組(2/2)

| 大学名 | 主な取組の概要 |
|-------------|--|
| 早稲田大学 | <ul style="list-style-type: none">大学と提携するベンチャーキャピタルと連携したギャップファンド(Waseda PoC Fund)の実施学生向けエントリーレベルのギャップファンド(WASEDA EDGE GAP FUND)の実施 |
| 筑波大学 | <ul style="list-style-type: none">ベンチャー起業相談室を運営筑波大学発ベンチャー称号授与・大学施設での登記について審議、25社に授与筑波大学発ベンチャーシンポジウムを実施(2022.12)独自公募事業「事業化促進プロジェクト」を実施JST「START 大学・エコシステム推進型 大学推進型(旧SCORE大学推進型)」により、研究段階から事業化段階へのステップアップや起業を目指す研究者を支援 |
| 千葉大学 | <ul style="list-style-type: none">スタートアップ創出支援とアントレプレナーシップ教育を担う、スタートアップ・ラボを、学術研究・イノベーション推進機構内に新設(2023年4月)学内独自のギャップファンドプログラム(学内型のビジネスプランのブラッシュアップとビジネスコンテストを組み込んだプログラム)「第20回なのはなコンペ2022」の実施、運営大学関係者、経営者、VCを招いた学生との座談会「スタートアップカフェ」の実施金融機関との連携スタートアップピッチ「千葉横浜パートナーシップ/千葉大学・横浜国立大学発ベンチャーイノベーションピッチ」の開催 |
| 茨城大学 | <ul style="list-style-type: none">「茨城県学生ビジネスプランコンテスト2022」を実施 |
| 横浜国立大学 | <ul style="list-style-type: none">起業家養成講座シリーズ(全15回)の開講。(①入門編3回、②海外メソッドに学ぶ新規事業創出5回、③イノベーター養成講座5回、④デザイン思考とUX概論)大学発ベンチャー育成・支援事業「フェーズⅠ、フェーズⅡ」による支援の実施 |
| 神奈川県立保健福祉大学 | <ul style="list-style-type: none">「神奈川県立保健福祉大学発ベンチャー」認定制度の創設 |
| 中央大学 | <ul style="list-style-type: none">グローバル・イノベーションベースの設置インキュベーションルームの整備 |
| 東京都立大学 | <ul style="list-style-type: none">金融機関の創業支援担当部署による「起業相談窓口」の開設 |
| 東京農工大学 | <ul style="list-style-type: none">JST「大学発新産業創出プログラム」GTIE(Greater Tokyo Innovation Ecosystem)への共同機関参加本学独自のGAPファンド「TAMAGO」を実施学内プレシード/シードに対するインキュベーション各種支援 |

IV. 大学の取組(3/5)

2. 地域の大学における起業家教育の取組(1/2)

| 大学名 | 主な取組の概要 |
|----------|--|
| 慶應義塾大学 | <ul style="list-style-type: none">Keio Medical Application Challengeにおいて起業前の人材のアントレプレナーシップ促進のために、プログラム医療機器を中心とする医療系アプリケーション開発のプランニングを実施。医学研究科修士課程アントレプレナー育成コース実施。ASG慶應反分野の研究フォーラム「Scienc-Ome」実施(全く異なる分野のアイデアの融合や人の交流から新たな科学的発展が生まれることを目的に若手研究者、学生(高校生を含む)を対象としたオンラインセミナー)ジュニアドクター育成塾KEIO WIZARD開催KBS委員長杯(2023年3月5日開催):委員長杯実行委員会により、毎年、テーマを決めて、学生を対象としたビジネスプランコンテストを開催。2022年度は美容家電業界で高成長中の株式会社KINUJOへの提案型のビジネスコンペとして開催 |
| 東京大学 | <ul style="list-style-type: none">アントレプレナー道場(東京大学の学部生、大学院生、ポスドクを対象としたアントレプレナーシップ教育プログラム)の実施科学技術振興機構(JST)「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の共同主幹機関として大学や研究所の研究者、企業の研究開発者および事業開発者向けのアントレプレナーシップ人材育成プログラムを担当、「GTIEアントレ教育シンポジウム」を開催アントレプレナーシップ関連授業(工学部「アントレプレナーシップ」、工学系研究科「Innovation and Entrepreneurship」、「バイオエンジニアリング演習」等)を約40科目実施Today To Texas プロジェクト(東京大学関連のスタートアップや学生プロジェクトをSXSWの展示会に派遣、出展)新型コロナウイルス感染症の状況をふまえてSXSW2022への出展チーム募集を中止本郷テックガレージ(学生が技術的なサイドプロジェクトを行うための開発拠点)の実施 |
| 東京医科歯科大学 | <ul style="list-style-type: none">東京都との協定事業「創薬・医療データ科学イノベーション人材育成事業」で、創薬・医療等の領域での起業・新規事業開発に関心のある社会人・学生を対象として、「アントレプレナー育成プログラム(2022年度79コマ実施)」及び「デジタルヘルス人材育成プログラム(2022年度84コマ実施)」の2つのプログラムを令和3年度から開講。 |
| 東京工業大学 | <ul style="list-style-type: none">大学院の特定プログラムにおいて、アントレプレナーシップ論、デザイン思考、経営管理論等を実施社会人向けに技術経営等を学べるプログラムを実施 |
| 早稲田大学 | <ul style="list-style-type: none">文科省事業(EDGE, EDGE-NEXT)を介し構築してきたWASEDA-EDGE人材育成プログラムの実施(例) ビジネスに関する関心度と専門性に応じ体系的に履修できる科目群(ビジネス・クリエイションコース)の全学向け開設 医療ビジネス、地域創生、エフェクチュエーションなど様々な課題や教育手法に着目した課外プログラムの展開 イスラエル海外武者修行プログラムなど学生の海外展開の支援高校生向けアントレプレナーシップ教育の展開、課題や好取組事例の共有やGTIE域内～日本全体への発信 |

IV. 大学の取組(4/5)

2. 地域の大学における起業家教育の取組(2/2)

| 大学名 | 主な取組の概要 |
|-------------|--|
| 筑波大学 | <ul style="list-style-type: none">学部生向けの授業科目として、「次世代起業家養成講座」、「起業家のための経営・知財必須知識」、「筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック」を実施大学院生向けの授業科目として、「筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト」を実施研究者の方向けに、「つくばアントレプレナー育成プログラムBizDev講座」、「起業カビルドアップ講座」を実施 |
| 横浜国立大学 | <ul style="list-style-type: none">起業家養成講座の実施 ①入門編3回、②海外メソッドに学ぶ新規事業創出5回、③イノベーター養成講座5回、④デザイン思考とUX概論学部生向け全学教育科目として「アントレプレナー入門」の開講大学院生向け科目として「イノベーションと課題発見Ⅰ・Ⅱ」の開講 |
| 千葉大学 | <ul style="list-style-type: none">大学院共通科目の4つのアントレプレナーシップ教育講義の開講(スタートアップ概論A(前期15回)、スタートアップ概論B(後期15回)、スタートアップトレーニングⅠ(前期15回)、スタートアップトレーニングⅡ(後期15回))高校生以下向けアントレプレナーシップ教育プログラムの実施(文科省・EDGE PRIME Initiative)アントレプレナーシップコンソーシアムの設立・参加(ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba) |
| お茶の水女子大学 | <ul style="list-style-type: none">アントレプレナーシップの涵養を目指した3つの授業を開講(「アントレプレナーへの道(DX演習PoC検証編)」、「アントレプレナーへの道(DX演習製造業編)」、「リベラルアーツ演習Ⅰ」) |
| 茨城大学 | <ul style="list-style-type: none">「アントレプレナーシップ教育プログラム」の実施 |
| 神奈川県立保健福祉大学 | <ul style="list-style-type: none">大学院における講義の実施(アントレプレナーシップⅠ、Ⅱ)地域の小学生に対し、地域における科学イベントの一環としてデザイン思考ワークショップを実施地域の中学生に対して「GTIE(Greater Tokyo Innovation Ecosystem)」の活動紹介とともに、在学中に起業した学生から起業の活動などを紹介 |
| 中央大学 | <ul style="list-style-type: none">アントレプレナーシップ授業の開講(「グローバルアントレプレナーシップ入門/演習」)カリフォルニア大学ディビス校やシリコンバレーへの短期留学プログラムの設置 |
| 東京都立大学 | <ul style="list-style-type: none">各種イベントの開講(「起業キックオフイベント」、「起業ステップアップイベント」) |
| 東京農工大学 | <ul style="list-style-type: none">アントレプレナーシップ教育(醸成・コンピテンシー・社会実践)の実施学内ビジネスコンテストの実施 |

IV. 大学の取組(5/5)

3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

| 大学名 | 主な取組の概要 |
|-------------|---|
| 慶應義塾大学 | <ul style="list-style-type: none">株式会社ビズリーチと新産業創出支援を目的に連携協定を締結はまぎん財団助成金事業（慶應義塾大学・川崎市産業振興財団・横浜銀行の3者で川崎市域における産業振興） |
| 順天堂大学 | <ul style="list-style-type: none">MEDISO(厚労省委託)との連携順天堂大学における産業創出の好循環を生み出すための次世代医療エコシステム形成の取組み、オープンイノベーションの取組み等 |
| 東京大学 | <ul style="list-style-type: none">「柏Ⅱキャンパス産学官民連携棟」にて、研究・教育成果の事業化・実用化を目指す個人及び法人に起業環境を提供科学技術振興機構(JST)「大学・エコシステム推進型スタートアップ・エコシステム形成支援」の共同主幹機関として研究者・大学院生向けアントレプレナーシップ・セミナーを開催東京大学卒業生・研究者・学生を対象とした起業支援プログラムである「東京大学FoundX」の実施 |
| 東京医科歯科大学 | <ul style="list-style-type: none">GTBが、東京大学、東京医科歯科大学、日本製薬工業協会(製薬協)を幹事機関とする推進体制を構築 |
| 東京工業大学 | <ul style="list-style-type: none">「東工大横浜ベンチャープラザ(YVP)」を中小企業基盤整備機構及び横浜市と共同して設置「GAPファンド」を芙蓉総合リース株式会社及び株式会社みらい創設機構と共同で運用東京都主催「City-Tech.Tokyo」への出展。経団連主催「Keidanren Innovation Crossing (KIX)」でのスタートアップピッチ実施。 |
| 早稲田大学 | <ul style="list-style-type: none">大学の名を冠した「早稲田大学ベンチャーズ(WUV)」創設を決定。80-100億円程度の規模のファンド創設に向けて検討を実施 |
| 東京農工大学 | <ul style="list-style-type: none">イノベーションリーダーサミットへの参加、民間VCとの大学認定ファンドの設立、小金井市、中小機構とのスタートアップ支援 |
| 東京都立大学 | <ul style="list-style-type: none">多摩地域の自治体・公的機関・金融機関等と、ベンチャー支援の展開に向けた連携のあり方について意見交換 |
| 中央大学 | <ul style="list-style-type: none">東京都と大学との定例懇談会で法学系の都心展開と理工系の連携を強化させ、分野融合とグローバル展開を図るオープンイノベーション拠点を構築し、社会共創を目指す旨を紹介 |
| 千葉大学 | <ul style="list-style-type: none">NEDO 覚書締結・起業家支援連携JETRO 包括的連携協定・ジェトロデスク設置INPIT スタートアップアドバイザー事業受託民間VC 投資審査高度化のための連携推進千葉市 千葉市アクセラレーションプログラムC-CAPへの参画 |
| 茨城大学 | <ul style="list-style-type: none">「IBARAKI TECH PLANTER」に後援。2022年度は資金調達等まで至ってはいない。 |
| 神奈川県立保健福祉大学 | <ul style="list-style-type: none">カナダのインキュベーター「DMZ」と、日本でDMZと連携する「Landing Pad Tokyo powered by DMZ」(LPT)との意見交換 |
| 筑波大学 | <ul style="list-style-type: none">つばさ事業において(一社)TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)と連携UTEC主催の「1stRound」、つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムの「Tsukuba Startup Week 2022」に参画 |

V. 都市の環境・繋がり の状況 (1/3)

1. 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

(1) 都市の集積の概要

- 東京には、圧倒的な市場・産業、資金、人材、知見が集積。
- 日本の資本金10億円以上の企業のうち、約半数にあたる約3,000社が東京に集積するなど国内ビジネスの中心であるとともに、国際的なビジネス拠点として、東京には日本全体の約76%にあたる2,400社を超える外資系企業が集まる。また、Fortune Global 500掲載企業の本社数では世界トップクラスを誇る。

(2) 都市の環境の概要

- 高い交通利便性、国際空港へのアクセス
- 森記念財団「世界の都市総合力ランキング」で東京は6年連続3位、全分野で高い評価
- 経済(4)、研究開発(4)、文化・交流(4)、居住(9)、環境(17)、交通・アクセス(5)

※()数字は分野別ランキング



出典: 東京都総務局「東京都の人口(推計)」、東京都総務局「暮らしと統計2021」、東京都産業労働局「グラフィック東京の産業と雇用就業 2021」、The United Nations「World Population Prospects 2019」、fDi Intelligence「Asia—Pacific Cities of the Future 2019/2020」、森記念財団「世界の都市総合力ランキング」、A. T. Kearney「Global Cities Index 2021」、monocle「Livable Cities Index 2021」、Condé Nast Traveler「Readers' Choice Awards 2021」(Big Cities)

V. 都市の環境・繋がり の状況 (2/3)

2. スタートアップ支援者等の交流する施設・場(公的施設・民間施設)

【その他エリア(新宿・中野・多摩)】

- ・TOKYO UPGRADE SQUARE(新宿)
- ・東京コンテンツインキュベーションセンター(TCIC)(中野)
- ・TOKYO創業ステーション(立川)
- ・SMARTCITY × TOYKO(東京都スマートシティ連絡会)
- ・農工大・小金井ベンチャーポート(小金井市)

【渋谷エリア】

- ・東京開業ワンストップセンター(渋谷サテライト)
- ・青山スタートアップアクセラレーションセンター(ASAC)
- ・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
- ・100BANCH
- ・EDGEof
- ・hoops link Tokyo
- ・WeWork Shibuya Scramble Square
- ・Shibuya Inclusion Base Jinnan
- ・H10渋谷神南
- ・GUILD(青山・渋谷・道玄坂・公園通り・神南坂・神南一丁目)
- ・NEUTRAL INNOVATION BASE(NIB)
- ・Shibuya Open Innovation Lab(SOIL)
- ・SHIBUYA QWS
- ・東京大学駒場連携研究棟インキュベーションルーム

【その他エリア(東京都外)】

- ・BiZCAFE(株式会社エンリッシュン × 千葉大学)
- ・千葉大亥鼻イノベーションプラザ(千葉大学)
- ・KCRC(千葉大学)
- ・CSPC(千葉大学)
- ・千葉大学IMO
- ・産学連携ジェットロデスク(千葉市)
- ・東京大学産学官民連携棟(柏市)

【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】

- ・開業ワンストップセンター
- ・KaleidoWorks
- ・Venture Café Tokyo
- ・CIC TOKYO
- ・ARCH
- ・六本木アカデミーヒルズ
- ・虎ノ門ヒルズフォーラム
- ・第四次産業革命センター
- ・新虎CORE
- ・Innovation Design Studio(田町)

【その他エリア(本郷・御茶ノ水)】

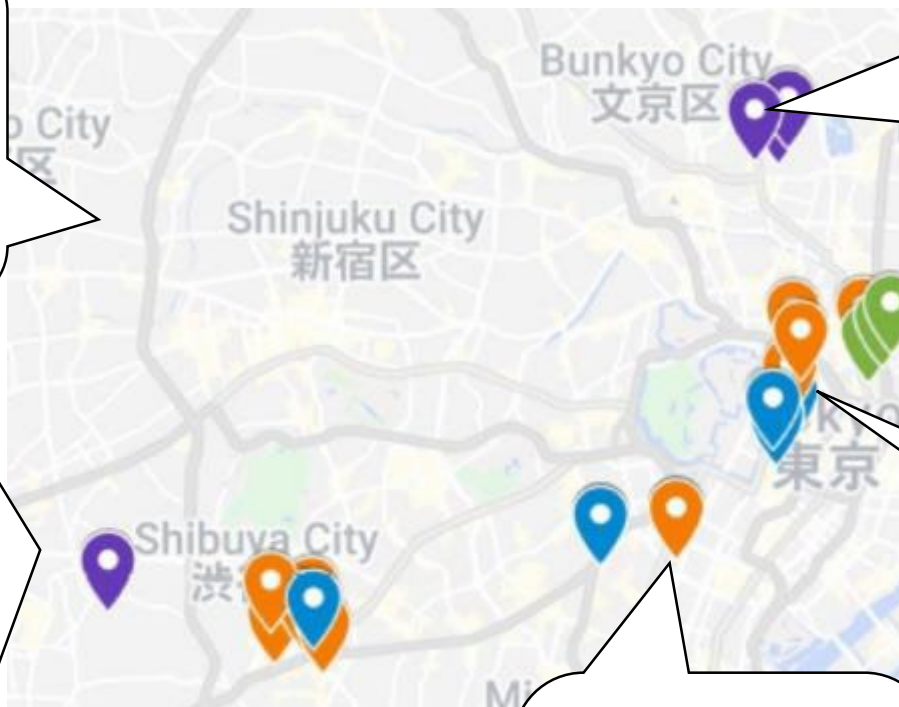
- ・東京大学産学連携プラザ(本郷)
- ・東京大学アントレプレナーラボ(本郷)
- ・東京大学南研究棟(本郷)
- ・Wednesday4meetup(御茶ノ水)
- ・LUNCHMEETUP(御茶ノ水)
- ・TIP(御茶ノ水)

【日本橋エリア】

- ・THE E.A.S.T. 日本橋富沢町
- ・THE E.A.S.T. 日本橋一丁目
- ・日本橋ライフサイエンスビルシリーズ
- ・日本橋ライフサイエンスハブ
- ・GLOBAL LIFESCIENCE HUB
- ・日本橋三井ホール
- ・室町三井ホール&カンファレンス
- ・X-NIHONBASHI TOWER

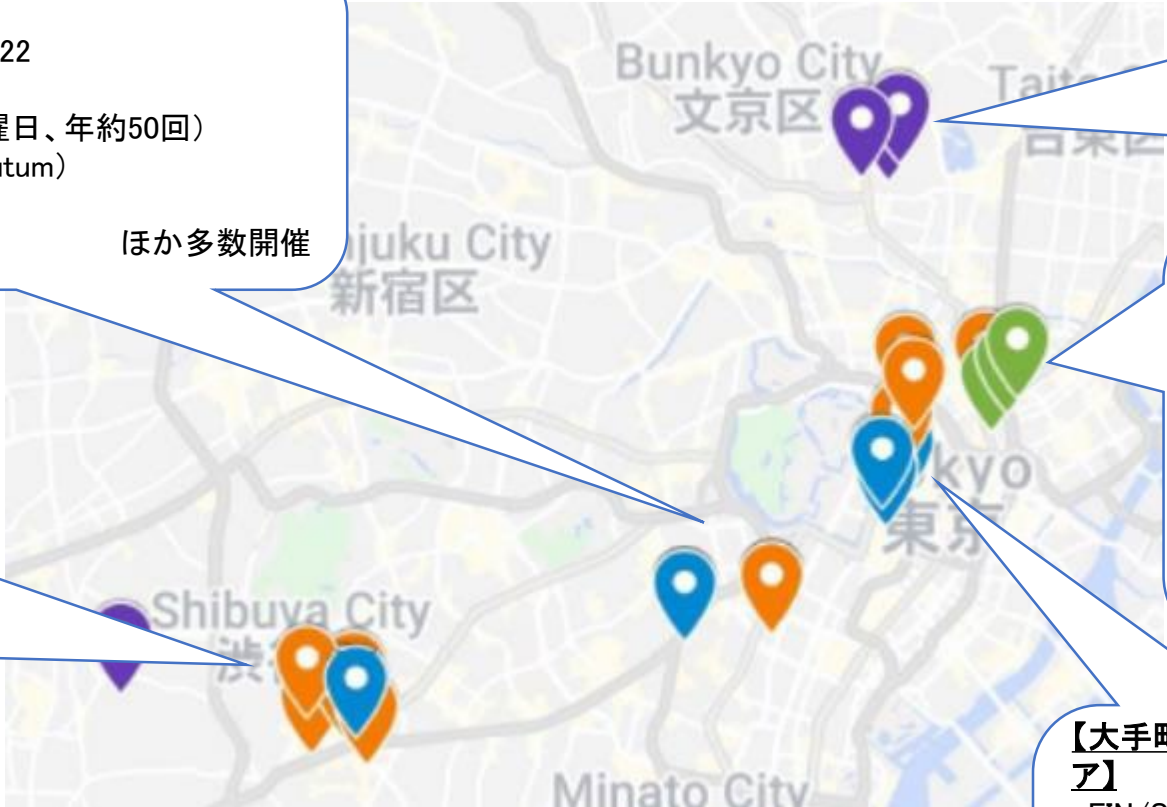
【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- ・TOKYO創業ステーション(丸の内)
- ・東京開業ワンストップセンター(丸の内サテライト)
- ・NEXs Tokyo
- ・FINOLAB
- ・3×3 Lab Future
- ・Global Business Hub Tokyo
- ・SAAI Wonder Working Community
- ・EGG
- ・TOKIWA BRIDGE
- ・Inspired.Lab
- ・東京金融ビレッジ
- ・MIRAI LAB PALETTE
- ・BeSTA FinTech Lab
- ・The M Cube



V. 都市の環境・繋がりの状況 (3/3)

3. スタートアップ関連イベントの開催状況



【六本木・赤坂・虎ノ門エリア】

- ・Innovation Leaders Summit2022
- ・FUSE Vol.2
- ・Thursday Gathering(毎週木曜日、年約50回)
- ・Rocket Pitch 2021(Spring, Autum)
- ・始動 Next Innovator2022

ほか多数開催

【本郷・お茶の水エリア】

- ・BBセミナー
- ・イノベーションアイデアコンテスト
- ・バイオデザインセミナー
- ・「Plug and Play」共催セミナー
- ・起業マインドセミナー

【渋谷エリア】

- ・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産:イノベーションに関連するイベントの実施
- ・Shibuya QWS:各種イベント実施(300回)

ほか多数開催

【日本橋エリア】

- ・LINK-J Meetup
- ・Miyaman's venture talk
- ・政策キーパーソンシリーズ

ほか多数開催

【その他エリア】

○横浜エリア

- ・横浜・大学対抗ビジネスプランコンテスト(横浜国立大学、横浜市立大学、神奈川大学、慶應義塾大学の学生・大学院生)

○つくばエリア

- ・TSUKUBA CONNÉCT

○千葉エリア

- ・千葉県信用保証協会 女性のための創業セミナー
- ・西千葉子ども起業塾
- ・イノベーションピッチ「千葉横浜パートナーシップ」

千葉大学・横浜国立大学発ベンチャー

【大手町・丸の内・有楽町エリア】

- ・FIN/SUM 2022
- ・Morning Pitch
- ・City-Tech.Tokyo
- ・CHANGE to HOPE 2022
- ・Innovation Garden 2022
- ・XTC Japan 2022
- ・Keidanren Innovation Crossing (KIX)

VI-1. ウィズコロナ・アフターコロナを考慮した拠点形成

1. DX・スマートシティWGの取組

WGの 目的

- 社会の変化・変革を見据え、「新しいつながり」や「新しい暮らし方・働き方」の実現、「過密から快適な都市構造への転換」による新たな価値を創造していく必要があることをふまえ、都市のDX化・スマート化のカギとなる技術やサービスを有するスタートアップを巻き込み、社会課題の解決とイノベーションの創出を目指す

R4 実施内容

- scheme verge株式会社と一般社団法人水都創造パートナーズのDX・スマートシティ領域における取組及び今後の展開について共有
- 参加者は「医療」、「環境」、「モビリティ」の3領域に関して、東京圏におけるスマートシティの取組の方向性について議論



2. バイオ・ウェルネスWGの取組

WGの 目的

- バイオ・ウェルネス分野に精通したプレイヤーとスタートアップをつなぎ、シーズの事業化、投資の促進、市場領域の拡大を図る

R4 実施内容

- 近年のヘルスケアビジネスの背景やトレンド、具体的な事例について共有
- 「創薬・再生医療・バイオテクノロジー」と「ヘルスケアサービス」の2つのグループで、「エコシステム形成に向けた連携の方向性」について議論



3. 大学を中心としたエコシステム拠点強化WGの取組

WGの 目的

- 東京コンソーシアム圏内における、ディープテックなどに関する知の集積のさらなる活用に向け、大学間の連携を強化し、大学の拠点性の強化を図る

R4 実施内容

- コンソーシアム会員大学および会員企業を対象として起業家教育に関する現状の取り組みや課題について共有、東京コンソーシアムとして大学との民間企業の連携を深めていくための具体的方向性を議論

4. グローバル化推進WGの取組

WGの 目的

- 東京のスタートアップ・エコシステムのグローバル化を目的とし、幅広いグローバルプレイヤーの充実によりダイバーシティを高めるとともに、東京とグローバルのエコシステムとのつながりを深め、イノベーション創出につなげる

R4 実施内容

- 東京圏のエコシステムのPRに向けて、参考となる海外事例を共有
- 参加者間で、インバウンド・アウトバウンドの観点から東京圏のエコシステムPRに向けた議論を行い、何を実施していくべきかをタスクとして落とし込んだ



VI-2. グローバルを考慮した拠点形成(2/7)

5. Team Invest Tokyo PTの取組

PTの
目的

- 海外の先進的な技術を持つ企業やスタートアップ及び起業家に対して、スムーズなビジネス展開を支援するための様々な施策を強力に推進する

R4
実施内容

- 渋谷区、Stripe Japan株式会社、Miles Japan株式会社、Trusted株式会社から登壇者を招きパネルディスカッションを実施
- 海外スタートアップとの連携促進に向けて連携プロジェクトの創出を検討



6. ダイバーシティPTの取組

PTの
目的

- 女性、外国籍企業等、多様な視点をもった企業とのネットワークの場を提供

R4
実施内容

- パナリット株式会社と株式会社ファミワンから登壇者を招きパネルディスカッションを実施
- イノベーション創出のための企業のダイバーシティ経営の必要性と具体的な実施方針について検討



ビジネスコンシェルジュ東京

- 日本の商習慣等ビジネス全般にわたる相談や、法人設立から販路開拓までに必要となる諸手続きの相談等に、英語の堪能なスタッフが一貫して対応し、東京でのビジネス展開をサポート
- 令和4年度は、オンライン対応を行いつつ、コロナ感染防止策を講じて対面でも相談を実施
入国制限の緩和により創業人材受入促進事業の申請が大幅に増加する等、外国人起業家・外国企業の東京進出の動きが活発化
徐々に来日して対面で相談を希望するケースも増加してきており、相談者の状況に合わせた相談対応を実施
- 金融系企業への対応として、拠点設立補助金に加え、令和2年度・3年度に拠点設立した金融系外国企業を対象に、定着・成長を促進する「パワーアシスト補助金」の案内を実施
- 平成24年度～令和4年度迄の約11年間で累計19,127件の相談に対応
令和4年度の対応件数は4,546件
- 補助金等について266件、創業人材については1,383件の相談対応実施



ビジネスコンシェルジュ東京・香港窓口【令和2年10月～】

- 相談方法: オンライン(対面は事前予約制)
- 対応時間: 平日9:00～18:00(現地時間)
- 窓口機能
 - 相談対応: 東京進出に際してのビジネス支援、マッチング、税務相談等
 - 市場調査: 現地市場の動向や海外企業のニーズ調査・報告
 - 情報発信: 海外企業やメディアに対する東京の魅力PR



金融系外国企業・人材に対する一時的オフィス提供【令和2年11月～】

- 新たに東京進出を検討する、アジアを中心とした金融系外国企業に対して、東京進出に向けた事前調査(リサーチ)等に必要となるオフィスを提供

- オフィス提供事業者と事業協定を結び、都がオフィス賃料等を負担

[オフィス提供事業者(五十音順)]

WeWork Japan、サーブコープジャパン株式会社
ディ・エグゼクティブ・センター・ジャパン、東京建物株式会社
平和不動産、三井不動産、三菱地所、森ビル



グリーンファイナンス外国企業進出支援事業【令和3年10月～】

■グリーンファイナンスに取り組む金融系外国企業※ の東京への進出を支援するため、対象企業に対し「進出支援プログラム」の提供と「補助金」の交付を実施

※ 資産運用業又はFinTech事業を営む外国法に基づき設立された法人

補助金：

初年度最大5,000万円

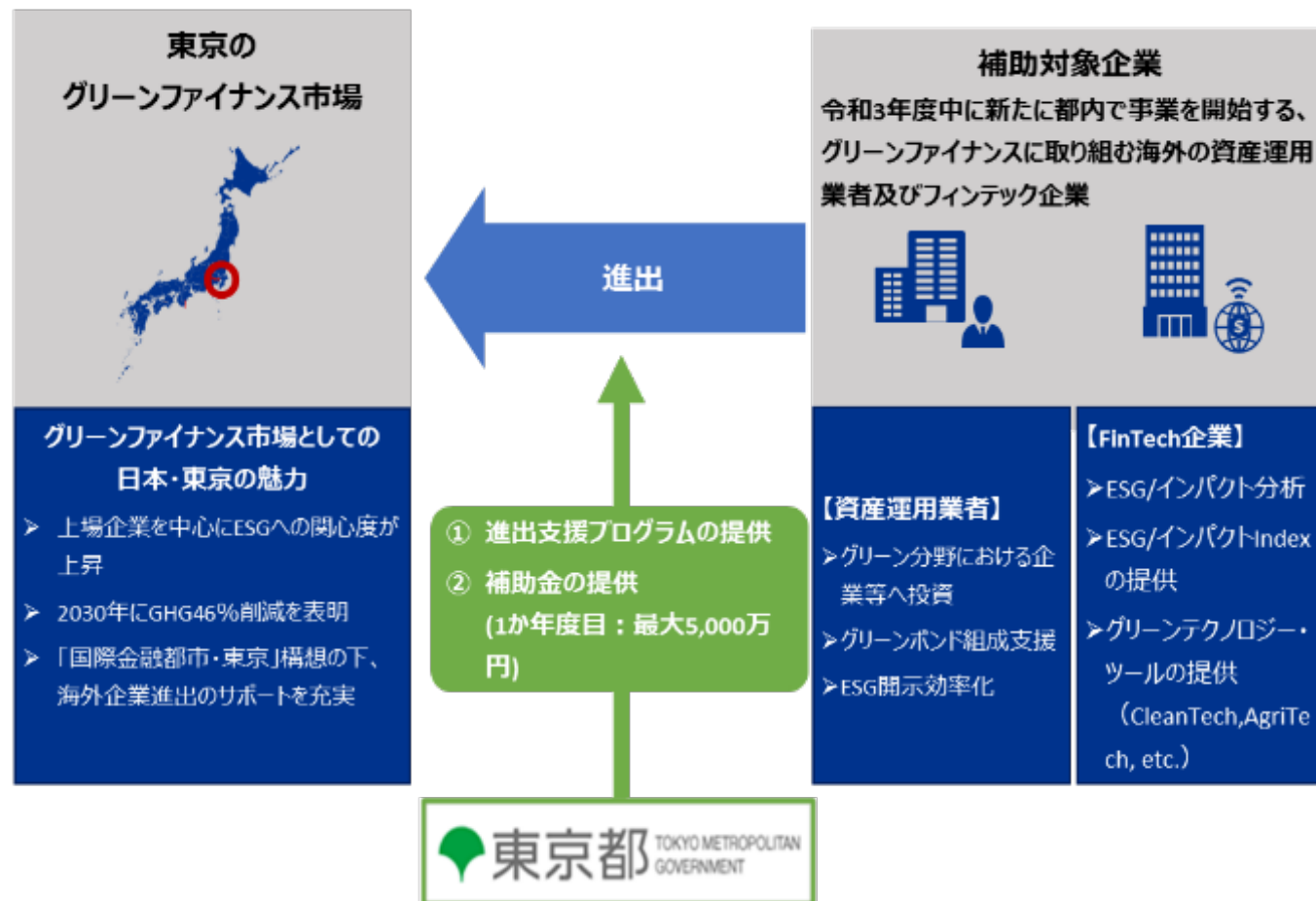
(全額補助)

対象経費：

人件費、人材採用経費、オフィス賃料、

器具備品購入費、

専門機関コンサルティング費



VI-2. グローバルを考慮した拠点形成(6/7)

7. City-Tech.Tokyoへの参加

スタートアップとのオープンイノベーションで持続可能な社会を実現するためのグローバルイベント「City-Tech.Tokyo」を初開催。41の国と地域からスタートアップ企業が出展し、多様な参加者が出会う場を提供することで、社会・経済的インパクトが大きいビジネス、オープンイノベーションの可能性を創出

City-Tech.Tokyo（令和5年2月）

- 日時：令和5年2月27日(月)、28日(火)
- 主な会場：東京国際フォーラム(ハイブリッド形式)
- 主催：グローバルイベント2023実行委員会
- プログラム
 - ・キーノート／セッション(世界的著名人、スタートアップ企業、国内外企業、投資家、有識者等が登壇)
 - ・ワークショップ
 - ・ピッチコンテスト「City-Tech Challenge」(国内外のスタートアップが登壇)
 - ・展示ブース
(スタートアップ、国・都市、協賛企業等による出展)
 - ・商談会
 - ・関連イベント等
 - ・関連イベント
(民間企業等によるイノベーション関係のイベントを前後に連携して各地で多数開催)
 - ・サイドイベント
(CTT参加者の交流を深めるイベント等を民間企業等の協力を得て多数開催)



4. INNOVATION LEADERS SUMMIT (ILS)への参画

「東京グローバルスタートアップエコシステム構築に向けた連携協定」に基づき、ILSに参画
国内外の大手企業、スタートアップ、VCの協業・連携を強化

The 10th INNOVATION LEADERS SUMMIT (令和4年11月)

■リアルとオンラインのハイブリッドとして開催。リアルとオンラインのハイブリッドイベントとして開催。
オンラインイベントには16,982名が、リアルイベントには8,195名を超える方が参加。またメインプログラムのスタートアップと大手企業の新事業創出マッチングプログラム「パワーマッチング」は、対面とオンラインで開催し、過去最多となる2,890件の商談を実施した。

■都は、ILSの東京タイアッププログラムを実施

①Tokyo Green Impact Challenge の開催

都市のサステナビリティにおける課題解決プランを提案

した有望スタートアップにピッチ機会を提供

登壇数:24社、来場者数:89名 オンライン視聴数:2,290名)

②パワーマッチング「東京都特別枠」設置

コンソ大学・研究機関会員推薦の有力シーズ研究者や

研究室は、法人化未満でもパワーマッチングに参加可能とする

総商談数:22件 参加数:6社



アジア最大のオープンイノベーションマッチングイベント

The 10th INNOVATION LEADERS SUMMIT

- オープンイノベーションレポート -



内閣府事業スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラム【令和5年3月】

1. プログラムについて

- JETROの内閣府事業スタートアップ・エコシステム拠点都市機能強化プログラムとして、内閣府予算にて実施（JETRO からCIC Tokyoに委託）
- 本プログラムは、東京コンソーシアムの取組の一環として参画する海外都市ネットワークGlobal Incubator Network (GIN)※ のプログラムとして実施
- ディープテック／インダストリー4.0分野に特化し、各国のインキュベーター（日本からはCIC Tokyo）が中心となって、相互に参加地域のスケールアップの海外展開を支援

※Global Incubator Network(GIN)について

Apexe Global Inc.社(Startup Genome 等が母体)が中心となり2022年に設立

2. GINプログラム「Tokyo Sales Mission」概要

- 実施期間: 令和5年3月13日週(約1週間)
- 国内企業と海外スケールアップのビジネスミーティング(対面、オンライン)
- 企業施設訪問(オープンイノベーションの取組説明・意見交換)
- 日本ビジネスやエコシステムに関するレクチャー
海外起業家、Victor Mulas氏等
- ネットワーキングイベント(@CIC Tokyo)
参加対象 : 東京コンソ会員／海外連携に関心ある国内企業 等 9社
プログラム: GIN紹介／来日スケールアップのピッチ／ネットワーキング
- 来日スケールアップ(9社)
ディープ・テック／インダストリー4.0分野(米国、カナダ、韓国、チリ)

